要するにこのプログラムによって…

カリキュラム記号［A］

基礎コース 14C 版（地力醸成・定着型）

に準じた成果が得られます。

チーム アクティベイト プロデューサー
代表講師 ／ 菅沼 義一

但し［A］と比べてカリキュラム数が少なく、

その分、公式的な実践報告会が実施されません。

実践報告会は、少人数のグループ単位で

次回研修当日早朝または直近日に簡単に済ませる方式となります。

職場での実践について

・研修事務局様でフォローしてください

…研修生の職場に足を運んでの声掛けやヒアリング

…上司から研修生の変化や学びの実践についてヒアリング

※それぞれのヒアリングは 1-2 分程度の簡単なもので結構です

…リスペクトすべき実践については研修同期生へメール紹介

研修内容（とりわけキーワード）について

・研修事務局様が率先して多用してください

…上記各ヒアリングで多用

…上記メール発信で多用

…日常の会議、ミーティングの席で多用

研修事後の学びの風化を防止するために

・研修事務局様が週一でケアをしてください（声掛け・メール等）

・研修事務局様が研修性の上司を巻き込んで

上司による個別ケアの道筋立てをしてください

Created by GIICHI SUGANUMA LIFEWORKERS CO.,LTD.
本資料は著作権によって保護されています。